

2015年度第3四半期 IR決算説明資料

2016年2月8日

日本テレビホールディングス株式会社

①テレホールディングス

**本説明会及び資料の内容には、
将来に対する見通しが含まれていることがあります。
しかし、実際の業績は、
さまざまな状況変化や要因により、
これらの見通しと
大きく異なる結果となり得ることがあり、
何らの保証やコミットメントを
与えるものではありません。ご了承下さい。
また、本資料の無断転載はお断りいたします。**

①テレホールディングス

決算のポイント

- 2015年度第3四半期決算は増収増益
- 日本テレビ放送網の業績好調。
高視聴率を背景に放送収入引き続き好調。
映画、イベントも好調、バップ大幅改善、
ティップネス貢献。
- 通期業績予想は売上30億円、営業利益、
経常利益とも35億円上方修正

連結 売上高・利益

(百万円)

	2014年度 第3四半期	2015年度 第3四半期	増減率 (%)
売上高	260,709	308,221	18.2
営業利益	29,456	40,199	36.5
経常利益	34,793	44,670	28.4
親会社株主に 帰属する四半期純利益	21,809	29,545	35.5

日本テレビ放送網(単体) 売上高・利益

(百万円)

	2014年度 第3四半期	2015年度 第3四半期	増減率 (%)
売上高	215,989	229,285	6.2
営業利益	26,300	33,565	27.6
経常利益	27,863	41,249	48.0
四半期純利益	17,576	29,428	67.4

テレビ広告収入 -地上波放送(日本テレビ放送網)-

(百万円)

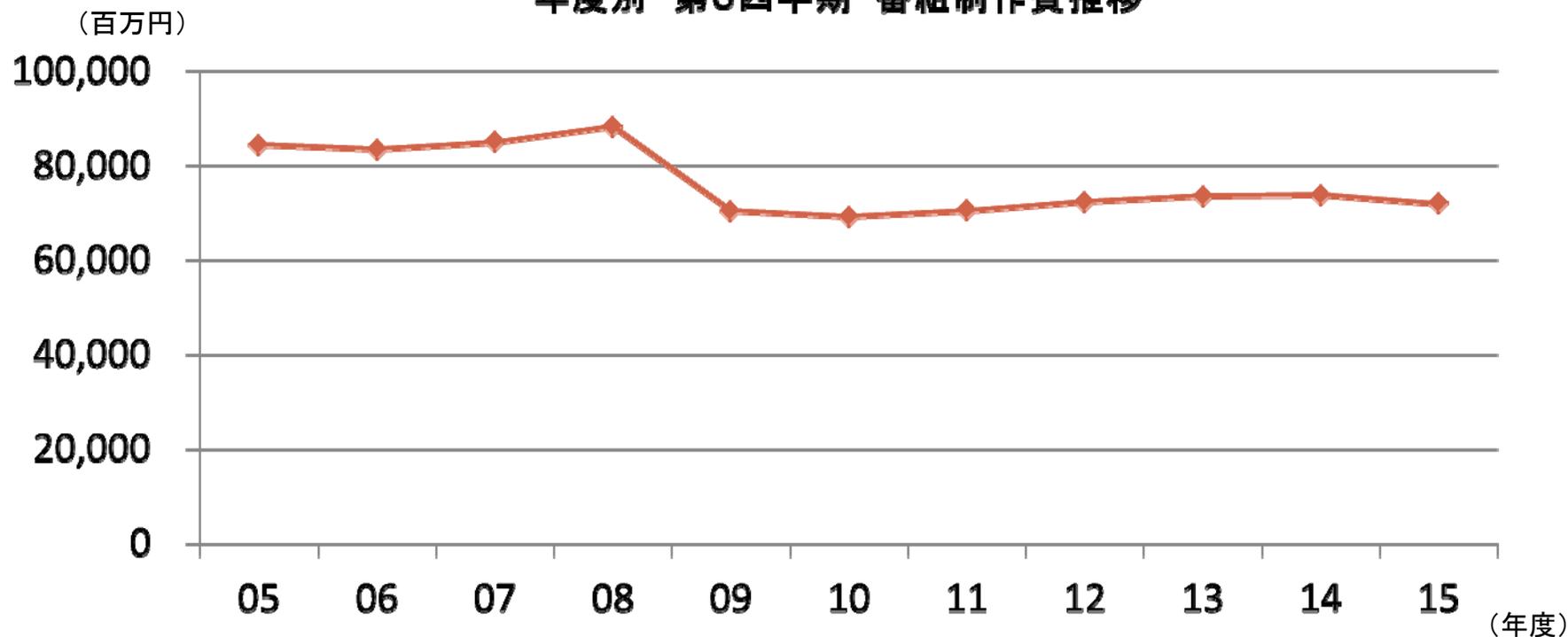
	2014年度 第3四半期	2015年度 第3四半期	比較	増減率 (%)
放送収入	176,977	183,314	6,336	3.6
タイム	85,499	86,937	1,438	1.7
スポット	91,478	96,376	4,897	5.4

番組制作費 -地上波放送(日本テレビ放送網)-

(百万円)

2014年度 第3四半期	2015年度 第3四半期	比較	増減率(%)
73,824	72,089	△1,735	△2.4

年度別 第3四半期 番組制作費推移



主な事業収支の概況 -日本テレビ放送網-

(百万円)

第3四半期		収入	費用	収支
映画事業	昨年	5,887	5,612	275
	当期	9,437	8,520	917
通販事業	昨年	7,076	6,706	370
	当期	7,188	6,599	589
イベント事業	昨年	3,657	3,462	195
	当期	5,376	4,356	1,020

主なグループ各社の状況

(百万円:未満切捨)

2015年度第3四半期 (百万円:未満切捨)	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	金額	増減率(%)	金額	増減率(%)	金額	増減率(%)	金額	増減率(%)
BS日本	11,373	2.2	1,093	△41.9	1,160	△39.7	755	△38.4
CS日本	3,701	△8.1	668	13.2	680	11.9	464	28.9
日テレ・テクニカル・リソース*	8,052	4.4	64	△78.0	83	△74.3	43	△79.7
日テレ アックスオン	15,476	△0.8	797	△21.3	813	△21.1	492	△24.1
日テレイベント	2,244	8.6	150	21.9	153	18.7	101	24.5
日本テレビアート	6,071	△0.7	94	△66.7	104	△65.3	42	△78.0
日本テレビ音楽	8,249	4.1	1,282	4.5	1,479	14.4	1,047	24.8
ハップ°	15,258	37.3	51	-	180	-	△85	-
ティップネス	27,355	4.4	3,100	23.9	2,866	26.5	1,926	35.8
日本テレビサービス	2,636	△5.0	75	△61.6	87	△59.9	45	△66.4
日本テレビワーク24	3,003	△4.7	122	12.9	125	14.7	80	23.1
フオアキャスト・コミュニケーションズ*	2,078	△2.8	74	27.9	146	24.9	83	25.1
日テレ7	4,143	12.4	252	50.3	255	48.3	138	28.0
タツノコプロ	1,328	△13.1	43	△68.3	47	△65.8	5	△93.0
HJホールディングス	9,206	59.3	△1,411	-	△1,430	-	△1,433	-

業績予想と前提

2015年度通期連結業績予想

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表	407,000	48,000	53,000	35,000
今回発表	410,000	51,500	56,500	36,000

地上波テレビ広告収入と制作費 予想の前提(前年同期比)

	下期予想		通期予想	
	前回発表	今回発表	前回発表	今回発表
テレビ広告収入	2.0%	3.8%	2.4%	3.4%
タイム	2.5%	4.6%	1.3%	2.4%
スポット	1.6%	3.1%	3.5%	4.3%
制作費	3.2%	2.2%	△0.4%	△0.9%

配当予想の修正

当期の業績動向、今後の財務状況等を総合的に勘案して、
配当予想を修正しました

	第2四半期配当	期末配当	年間配当合計
前回配当予想	10円	20円	30円
今回修正予想	—	24円	34円
当期実績	10円	—	—
前期配当実績	10円	20円	30円

視聴率の状況

☆2015年「年間」視聴率 2年連続で三冠王獲得！

- ・2013年12月から本年1月まで26か月連続で月間三冠王獲得
- ・関東地区だけでなく、系列局でも好調な視聴率
→日本テレビ系列26地区中、25地区で年間三冠王を獲得
- ・世帯視聴率と個人視聴率の両立
→引き続きクライアントニーズの高い視聴者層の獲得

☆「プラチナ」でも視聴率首位

- ・「全日」「ノンプライム」「プラチナ」視聴率上昇
→朝から深夜まで、万遍なく高視聴率を維持

☆2015年「年度」視聴率も三冠で推移！

2015年「年間」視聴率

期間:2014/12/29～2016/01/03

* 表示は左からデジタルチャンネル順

	NTV	EX	TBS	TX	CX	2位局との差 (昨年の差)
全日	① 8.6	7.1	5.9	3.1	6.4	+1.5
	(+0.2)	(Δ0.1)	(+0.0)	(+0.0)	(Δ0.4)	(+0.3)
プライム	① 12.5	11.2	9.8	6.5	9.3	+1.3
	(+0.0)	(Δ0.2)	(+0.5)	(Δ0.3)	(Δ0.8)	(+0.2)
ゴールデン	① 12.6	11.0	9.8	6.8	9.2	+1.6
	(+0.0)	(+0.1)	(+0.3)	(Δ0.5)	(Δ0.7)	(Δ0.1)

* 世帯視聴率(関東地区)・ビデオリサーチ調べ

2015年「年間」視聴率上昇

期間:2014/12/29～2016/01/03

	全日	プライム	ゴールデン	ノンプライム	プラチナ
	6時～24時	19時～23時	19時～22時	全日ープライム	23時～25時
日テレ	①8.6%	①12.5%	①12.6%	①7.5%	①7.4%
前年同期比	+0.2%	±0.0%	±0.0%	+0.2%	+0.5%

* 世帯視聴率(関東地区)・ビデオリサーチ調べ

2015年「年度」視聴率

期間:2015/03/30～2016/01/31

* 表示は左からデジタルチャンネル順

	NTV	EX	TBS	TX	CX	2位局との差 (昨年の差)
全日	① 8.4	7.1	5.9	3.0	6.2	+1.3
	(Δ0.2)	(±0.0)	(+0.1)	(Δ0.1)	(Δ0.5)	(Δ0.2)
プライム	① 12.3	11.0	9.8	6.4	9.0	+1.3
	(Δ0.3)	(Δ0.3)	(+0.5)	(Δ0.2)	(Δ1.0)	(±0.0)
ゴールデン	① 12.4	10.7	9.9	6.7	8.9	+1.7
	(Δ0.3)	(Δ0.1)	(+0.5)	(Δ0.4)	(Δ0.9)	(Δ0.2)

* 世帯視聴率(関東地区)・ビデオリサーチ調べ

2016年4月改編について

☆編成方針

- ・継続的三冠＋プラチナ制覇/コアターゲット戦略の堅持
- ・レギュラー番組重視/タイムテーブルの価値最大化
- ・総合コンテンツ戦略＝コンテンツ多面展開の拡充
- ・総合チャンネル戦略＝ネット配信も含めた総合編成戦略の推進

☆改編戦略

- ・金曜日強化策を実行。20時台新番組『超問クイズ 真実か？ウソか？』
- ・レギュラー番組重視の戦略は継続⇒“停滞番組”の強化
- ・「7 Days TV」,「からだウィーク」の更なる強化
- ・「次なるキラークンテンツ」「次なるエースクリエイター」の育成を意識
- ・ドラマコンテンツを中心とした「総合コンテンツ戦略」に3波＋配信＋海外展開を見据えた「総合チャンネル戦略」を合わせ、コンテンツおよびタイムテーブルの価値最大化を図る

テレビ広告収入 -地上波放送(日本テレビ放送網)-

タイム	2014年度	2015年度	スポット	2014年度	2015年度
4月	2.4%	0.7%	4月	△1.0%	7.3%
5月	0.3%	6.7%	5月	15.1%	1.9%
6月	10.0%	△12.9%	6月	5.0%	0.2%
7月	5.0%	△0.1%	7月	7.7%	9.6%
8月	0.4%	4.2%	8月	11.0%	9.8%
9月	△0.2%	2.1%	9月	9.1%	6.0%
10月	0.0%	4.1%	10月	9.8%	1.5%
11月	7.6%	3.3%	11月	1.0%	8.8%
12月	△2.9%	7.0%	12月	14.1%	4.2%
10-12月	1.3%	4.9%	10-12月	8.0%	4.9%
4-12月	2.3%	1.7%	4-12月	7.7%	5.4%

バップ、ティップネス 概況

☆バップ

単位:百万円

第3四半期	累計	売上	営業利益	経常利益	当期純利益
		15,258	51	180	△85

収益大幅に改善 CD、DVDともに売上好調、経営改善
第4四半期には、「バケモノの子」「マジすか学園5」「ヒロイン失格」のDVD
が発売予定

☆ティップネス

単位:百万円

第3四半期	累計	売上	営業利益	経常利益	当期純利益
		27,355	3,010	2,866	1,926

売上、利益とも順調に推移

FASTGYM24

2015年12月末時点 32店舗 (2015年9月末時点 26店舗)

2016年春までの追加オープン予定店舗数 9店

HJ ホールディングス 概況

☆HJホールディングス

単位:百万円

第3四半期	累計	売上	営業利益	経常利益	当期純利益
		9,206	△1,411	△1,430	△1,433

- ・Netflix, amazon等の新規参入、および既存事業者のサービス拡大により動画配信マーケットは活況
- ・Hulu有料会員も拡大
- ・日本作品と海外作品のバランス重視
- ・会員獲得のためプロモーション費用およびコンテンツ獲得費用投下

12月末有料会員数 119.3万人

2016年3月末 予想有料会員数 128.7万人

2015年度(予想) 売上 12,750百万円

営業損失 2,180百万円





0テレホールディ

営業収入 -日本テレビ放送網-

(百万円)

	2014年度 第3四半期	2015年度 第3四半期
放 送 収 入	176,977	183,314
タ イ ム	85,499	86,937
ス ポ ッ ト	91,478	96,376
番 組 販 売 収 入	8,186	8,597
事 業 収 入	28,822	35,691
不 動 産 賃 貸 収 入	2,002	1,681
合 計	215,989	229,285

営業費用 -日本テレビ放送網-

(百万円)

	2014年度 第3四半期	2015年度 第3四半期
番組制作費	73,824	72,089
支払電波料	22,387	23,097
代理店手数料	31,008	32,354
人件費	15,574	16,140
減価償却費	4,931	5,557
事業費	23,479	28,521
諸経費	18,484	17,960
合計	189,689	195,720

スポット業種別売上シェア -地上波(日本テレビ放送網)-

2014年度 10月～12月		シェア	増減率 (%)	2015年度 10月～12月		シェア	増減率 (%)
1	化粧品・トイレタリー	13.2	10.8	化粧品・トイレタリー	14.3	13.9	
2	運輸・通信	11.6	33.2	運輸・通信	12.8	15.8	
3	薬品	8.5	7.1	薬品	9.0	10.7	
4	輸送機器	6.9	5.4	輸送機器	4.6	△30.3	
5	電気機器	6.8	△0.9	電気機器	6.4	△0.7	
6	サービス	5.4	14.4	サービス	5.8	13.0	
7	金融・保険業	4.9	△7.1	金融・保険業	4.7	0.6	
8	卸売・百貨店	4.7	24.6	卸売・百貨店	5.7	27.5	
9	映画・演劇興行	4.0	△0.5	映画・演劇興行	4.4	13.4	
10	食品<乳製品調味料>	3.9	33.7	食品<乳製品調味料>	3.9	7.2	

* 増減率は実績の前年同期比。内部管理数値です。

日本テレビ放送網事業収支

2015年度 第3四半期 事業種別収支

(百万円)

	収入	費用
有料放送	6,518	3,150
ライツ	1,626	823
通販	7,188	6,599
映画	9,437	8,520
イベント	5,376	4,356
海外ビジネス	948	476
その他	4,598	4,597
合計	35,691	28,521

設備投資と減価償却（連結）

（億円）

2015年度第3四半期	設備投資額	減価償却費
連結	80	76

連結予想	設備投資額	減価償却費
2015年度	179	104
2016年度	363	123
2017年度	180	149

セグメント別 実績

(百万円)

2015年度 第3四半期	報告セグメント				その他	合計	調整額	連結損益 計算書 計上額
	コンテンツ ビジネス 事業	生活・ 健康関連 事業	不動産 賃貸事業	計				
売上高	277,471	27,355	7,287	312,115	2,650	314,766	△6,544	308,221
セグメント利益	35,720	1,962	2,810	40,493	88	40,582	△383	40,199

報告セグメント	主な事業内容
コンテンツビジネス事業	テレビ広告枠の販売、有料放送事業、動画配信事業、映像・音楽等のロイヤリティ収入、パッケージメディア等の販売、通信販売、映画事業、イベント・美術展事業、コンテンツ制作受託
生活・健康関連事業	総合スポーツクラブ事業
不動産賃貸事業	不動産の賃貸、ビルマネジメント

2015年「日本テレビ」世帯視聴率詳細一覧

	全日	プライム	ゴールデン
1月月間	①9.7	①13.8	①14.0
2月月間	①9.3	①13.3	①13.6
3月月間	①8.9	①13.3	①13.6
4月月間	①8.6	①12.5	①12.6
5月月間	①8.3	①12.4	①12.5
6月月間	①8.2	①12.0	①12.2
7月月間	①8.5	①12.2	①12.2
8月月間	①8.7	①12.4	①12.5
9月月間	①8.4	①12.2	①12.4
10月月間	①8.2	①11.9	①12.0
11月月間	①8.1	①12.1	①12.1
12月月間	①8.7	①12.0	①12.0

	全日	プライム	ゴールデン
1月クール	①9.3	①13.5	①13.8
4月クール	①8.4	①12.3	①12.4
7月クール	①8.5	①12.3	①12.4
10月クール	①8.4	①12.0	①12.0
年間	①8.6	①12.5	①12.6

* 世帯視聴率(関東地区)・ビデオリサーチ調べ

2016年「映画事業」 主なラインナップ

☆日テレ主幹事

公開	作品名	配給	備考
2/27	黒崎くんの言いなりになんてならない	ショウゲート	別冊フレンド連載中の人気漫画を実写映画化。悪魔級DS男子に翻弄されつつも惹かれていく、ちょっぴりエロくてキュンとするラブストーリー
3/19	☆ちはやふる 上の句	東宝	累計販売数1400万部突破！青春映画の大本命、感動の2部作でついに映画化！
4/1	☆あやしい彼女	松竹	73歳のおばあちゃんが、ある日突然20歳になっちゃった！韓国で865万人動員の大ヒット作品のリメイク版。世代を超えたファンタジーコメディ誕生
4/16	名探偵コナン 漆黒の悪夢(ナイトメア)	東宝	大ヒットシリーズ、いよいよ第20弾。謎に包まれ続ける「黒ずくめの組織」がいよいよ登場。第19弾は44.7億円のシリーズ最高記録達成
4/29	☆ちはやふる 下の句	東宝	累計販売数1400万部突破！青春映画の大本命、感動の2部作でついに映画化！
7/16	HIGH&LOW 劇場版(仮)	松竹	連続ドラマ×Hulu×劇場映画、さらに音楽、ライブツアー、コミック化、SNS連動など、新しい総合エンターテインメントプロジェクト！LDH&豪華キャストが出演
8/6	☆ルドルフとイッパイアッテナ	東宝	長く愛され続けている大ヒット児童文学を原作に描く大型フル3DCGアニメーション。猫たちの友情と冒険、出会いと別れの物語
9/22	☆真田十勇士	松竹・日活	事業局内連動企画。あのヒット舞台「真田十勇士」が<舞台×映画>で復活！演劇界・映画界連動の史上初の画期的な一大Wプロジェクト！
秋	☆デスノート2016(仮)	ワーナー	「そのノートに名前を書かれた人間は死ぬ・・・」ライトとL、天才同志の対決に終止符が打たれて10年。あの「デスノート」復活！！
12/10	☆海賊とよばれた男	東宝	大ヒット作品「永遠の0」チームは再集結！主演岡田准一、監督山崎貴が大ベストセラーを完全映画化！

2016年「イベント事業」 主なラインナップ

期間	イベント名	内容
2016/3/19 ～6/5	ボストン美術館所蔵 「俺たちの国芳 わたしの国貞」	ボストン美術館が所蔵する膨大な浮世絵コレクションから、幕末の鬼才と呼ばれた兄弟弟子、歌川国芳、国貞の作品、およそ170件を展示。@Bunkamura ザ・ミュージアム、以後神戸、名古屋に巡回
4/2～4/20	ディズニーライブ 「ミッキーのミュージックパーティー」	ミッキー、ミニー、ドナルドらによる、音楽とダンスいっぱいパーティー！アラジン、リトル・マーメイドなどのスペシャルゲストも登場！ @文京シビックホールほか関東圏4会場
4/23～5/9 8/6～28	丸美屋食品ミュージカル 「アニー」	31年目を迎える大人も楽しめる本格ミュージカル。今年も見る人に前向きでやさしい気持ちをお届けします。 @新国立劇場ほか全国4会場
7/16～20 8/18～22	ディズニー・オン・アイス2016 「アナと雪の女王」	日本上演31年目。社会現象を巻き起こした「アナと雪の女王」を、トップスケーターが氷上で繰り広げます。 @国立代々木競技場第一体育館(7月)、横浜アリーナ(8月)
7/22～ 8/31	ドラゴンクエスト ライブスペクタクルツアー	日本初のオリジナルアリーナショー。国内外のトップクリエイターが、「ドラゴンクエスト」の世界を目の前に出現させます！ @さいたまスーパーアリーナほか全国5大アリーナ
9/10～ 10/23(予)	舞台「真田十勇士」	2014年に大ヒットした舞台の再演。前回に引き続き、主演中村勘九郎、監督堤幸彦。さらに堤監督、勘九郎主演で映画も同時期公開します。 @新国立劇場(東京・渋谷)ほか全国3会場
10/25～ 2017/2/26	ヴェルサイユ宮殿美術館 「マリー・アントワネット展」 ～美術品が語るフランス王妃の真実(仮)	日本初、ヴェルサイユ宮殿美術館の全面協力のもと、肖像画や王妃が身につけていた衣服、ゆかりの品々などでその生涯をたどる“マリー・アントワネット展の決定版”。 @森アーツセンターギャラリー